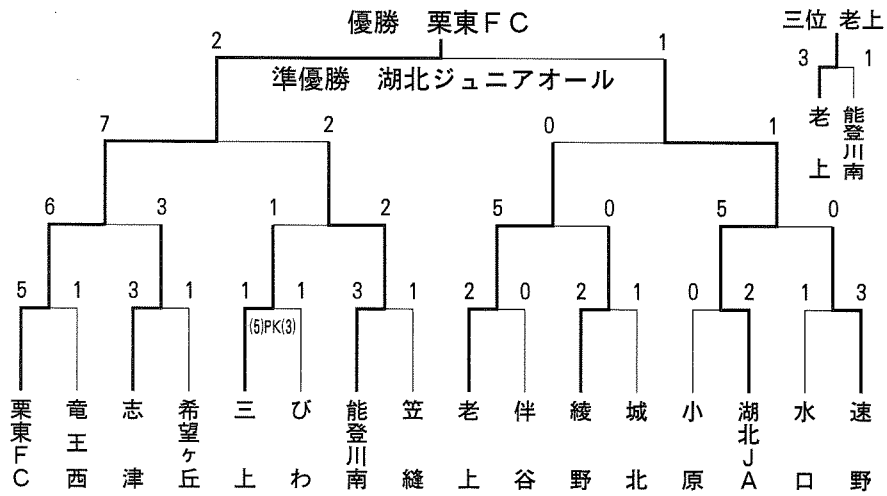


SOCCER NEWS SHIGA

(発行) 滋賀県サッカー協会
 (責任者) 理事長 奥村 弘
 栗太郡栗東町小野 796
 (印刷) 株式会社スマイ印刷工業
 栗太郡栗東町川辺 568-2

栗東F.C., 守山北高全国大会に出場

第22回全日本少年サッカー大会滋賀県大会結果



栗東地区に所属するサラブレッドF.C.、ハマG.F.C.、セゾンF.C.の16名の選手によって、トレセンチームを構成しました。選手個々の能力の高さはあるものの、カップ戦や交流戦でも思ったような結果が出ず、苦しいスタートでした。

ブロック予選が始まった頃に、ようやくチームとして機能し始め、県大会へと駒を進めることができました。

県大会に入ってから、コンビネーションのずれなどから失点はするものの、長短織り交ぜたパスによる多彩な攻撃で得点を重ね、勝ち進んでいくことができました。

決勝の相手は湖北ジュニアオール。滋賀県で初めてのトレセンチーム同士の対戦となりました。前半から一進一退の白熱した攻防が続き、後半10分過ぎに先取点を取られるという苦しい展開でした。幸運にもセットプレーから2点を連取することができ、逆転してついに栄光を勝ち取ることができました。

4月に浜松に遠征した時、各地のトレセンチームと対戦する機会がありましたが、思い通りの試合はさせてもらえませんでした。全国レベルのチームとのスピードとプレッシャーの違いを痛感させられました。7月27日(月)8月1日(出)に行われる全国大会では、滋賀県代表として恥ずかしくない試合をしたいと思っています。ワールドカップの日本代表ではありませんが、強豪チーム相手に粘り強い戦いをし、予選リーグ突破を目指します。

栗東F.C代表 石田 清造

サッカー環境の整備を

理事長 奥村 弘

全世界が注視する中で開催されたワールドカップフランス大会。世界サッカーの頂点をめざし死闘が繰り広げられました。新たな英雄たちが生まれ、数々のシーンが記憶に残りました。

幼い子どもが「ニッポン」「イハラ」「オカダかんとく」と声援を送り、ルールを知らないお年寄りがテレビを覗いて応援、また日本各地で応援会が開催され若者たちが熱狂しました。

残念ながら、日本代表チームは、「3敗、1得点」の結果を残して帰国しました。世界との力の差を誰もが痛感させられたと思います。また、これから2002年ワールドカップ日韓共催に向けて、もっともっと強くならなくてはならない。攻撃的な点の取れるチームに

ならなければならないと感じたことでしよう。

今後日本サッカーがJリーグ等のなかで、チームとして、また個人として実力経験を兼ね備え、2002年には、より攻撃力のある世界に匹敵するチームに変身していることに期待したいと思えます。

さて、来年は滋賀県サッカー協会が設立されて50年を迎えます。50周年を記念していろいろな記念事業を行う予定をしております。各種におきましては充分懸念のうえ実施したいと思っております。

この記念事業の遂行にあたり、今春より登録費の増額をお願い致しております。皆様には、ご理解をいただきまして、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、皆様ご心待ちにされております、サッカー場建設につきましても、けっして中断しているわけではなく、協会が最も成し遂げた事業の第一番目に掲げるもので

あります。今後各方面に強力に働きかけ、実現させたいと思っております。「滋賀県でサッカーを愛好していただくような、個性豊かな特色のあるサッカー環境を築いていきたいと考えております。

最近青少年の行動言動がとかく問題視されております。各チームの指導者の皆様におかれましては、技術の指導はもちろんのこと、それにもまして、心のトレーニングにも重点を置いていただき、我慢することや集中することのできる、技と心をそなえた強い選手を育成していただきたいと熱望いたします。そして、井原正巳くんのように日本を代表するような立派な選手を滋賀県から送り出していただきたいと期待しております。

最後になりましたが、皆様にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。理事長就任の挨拶とさせていただきます。

理事会より

第1回理事会が5月27日、第2回理事会が6月24日に、いずれも守山市つがやま荘で開かれた。おもな議題は、来年(平成11年)度の滋賀県サッカー協会設立50周年記念事業についてで、役員が次の4つの委員会にわかれ準備をすすめていくことになった。各委員会の進捗状況は次のとおりである。

○記念事業：各種別からの要望をもとに、割り当てられた予算をみながら検討する。

○記念誌：各種別の記録等、少しずつ編集をすすめているが、資料収集に大変、苦勞しており、広く協力をお願いしたい。

○記念式典：平成11年12月5日(日)に実施し、講演と式典を予定している。

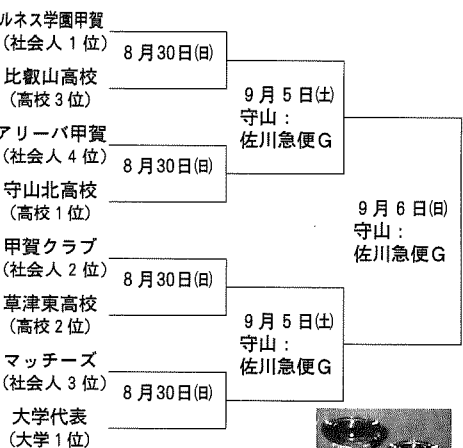
○募金活動：登録費100万円と募金500万円で、150万円を目標にし、個人(協会の役員、登録チームの指導者、一般賛同者)、賛同企業、広告掲載企業の3本立てで募金活動を行う。

いずれもまだ原案段階であるが、事業の成功のためにはすべての会員の皆様のご理解とご協力が必要であり、今後のご協力をよろしく願います。

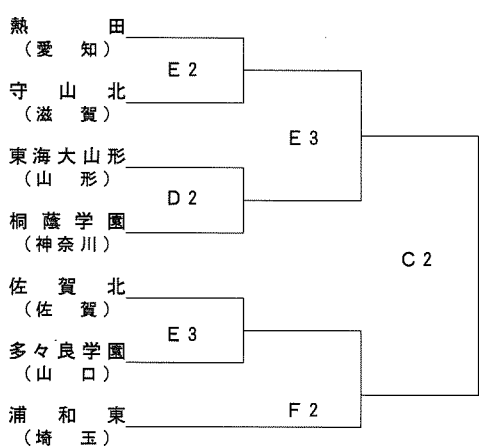
その他、理事会で話題になったことは、夏の県民体育大会の出場選手資格を協会登録選手に限ると規定したこと、4種での全日本少年サッカー大会県大会後の選手移籍やチームの解散の問題について議論があった。

最後に、今年度の登録状況について、全種別で35チーム、544名の登録があり、今後の追加登録については、事務局に申請して下さい。

平成10年度第78回天皇杯滋賀県大会 SHIGA F. A CUP



平成10年度全国高等学校総合体育大会 サッカー競技



全日本女子ジュニアユース選手権

関西予選 (U-15)
 8月22、23日
 於：甲西町菩提寺北小学校グラウンド

国体近畿予選
 8月21、22、23日
 於：宇治太陽ヶ丘グラウンド

全日本女子ユースサッカー選手権
 関西予選 (U-18)
 8月29、30日
 於：大阪・田辺

以上です。

- 中体連夏季総体
 - ・ブロック大会 7/21、22 (県内各会場)
 - ・県大会 7/29、30 (水口スポーツの森他)
 - ・近畿大会 8/7、8 (奈良県)
- クラブユース (U15) 全国大会 (8月、Jビレッジ)
- 滋賀招待中学生サッカー大会
 - ・予選 8/20、21
 - ・決勝トーナメント 8/22 (皇子山陸上競技場)

贈 土佐会長 ▶



